

新渡戸記念中野総合病院における病理解剖例の脳・神経を使った研究のお知らせ

当院で不幸にも亡くなられた患者さまの中には、死因等を究明するためにご遺体を病理解剖することがあります。今回は、いろいろな神経症状を呈して亡くなられた患者様の脳・神経を対象として神経症状の原因解明を目的として、下記の研究課題で学術的研究を企画しています。病理解剖で得られた脳を含めた臓器を研究目的に利用することについては、既に病理解剖施行前にご遺族の方々のご承諾を得ております。このお知らせは、既に頂いているご承諾を再確認するのが目的です。ご遺族の方々におかれましては、今回の研究に脳・神経を使用される事について、問題なしという場合にはご連絡いただく必要はありません。しかし、もし、ご希望なされない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さいますようお願いいたします。

研究課題名

神経変性疾患におけるヒト脳内の長鎖ノンコーディング RNA(lncRNAs)の意味：感染と炎症に関連して

当院の研究責任者（所属）

東京医療生活協同組合 新渡戸記念中野総合病院 病理診断科 北川昌伸

他の研究機関

東京医科歯科大学 人体病理学

カナダ シャールブルック大学 (University of Sherbrooke, Canada)

本研究の目的

我々は定量的 PCR を用いて、数千ある長鎖ノンコーディング RNAs (lncRNAs) の中から人の脳にある 8 つの候補を見出した。最大の関心事は、これらの選抜された lncRNA がなんらかの神経変性疾患、とくにアルツハイマー病 (AD) とパーキンソン病 (PD) と関連があるかどうかにある。同時に、微生物学的、或いは炎症性パラメーターとの関連性も考慮したい。

調査データ該当期間

2013 年から 2021 年の期間に施行された病理解剖 157 例（病理番号 1914 より後の例）

研究の方法

使用する試料は病理解剖された脳のパラフィン切片。パラフィン切片から RNA を抽出し、RT-PCR を施行し、lncRNA を同定する。

試料／情報の他の研究機関への提供：なし

個人情報の取り扱い

病理解剖例の番号、年齢、性はデータ処理のため用いますが、個人の姓名及びそれにつながる住所等は用いない。

利益相反：なし

お問い合わせ先

新渡戸記念中野総合病院 病理診断科
北川昌伸 電話 03-3382-1321 内戦258

